

シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第3回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介いたします。

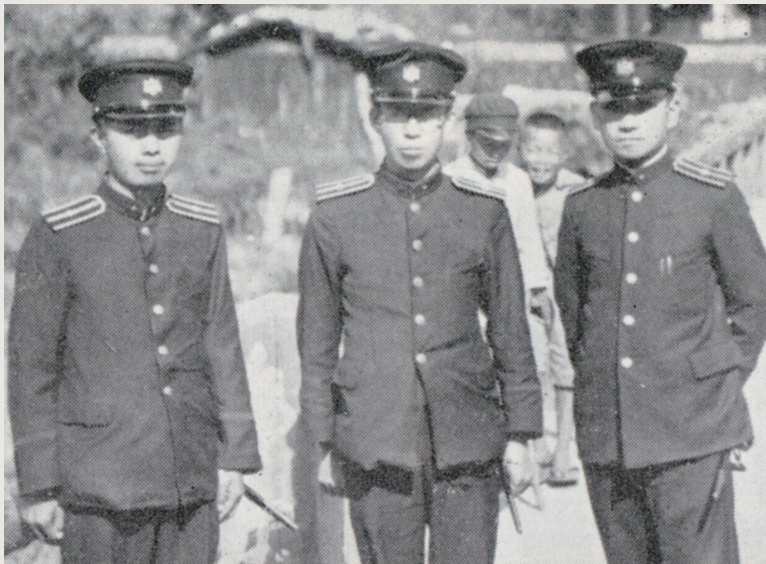
「昔の服装(制服)」



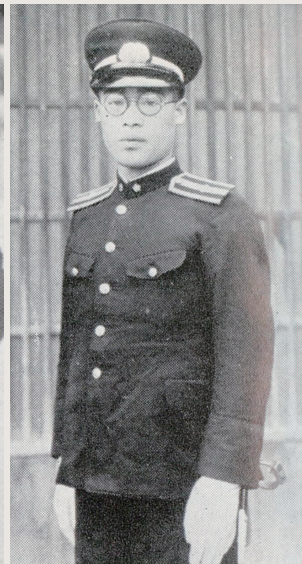
明治30年代の小林区署長
(※撮影地域・個人等不明)

「昔の軍人さんの写真?」と、思われる方もいらっしやるかもしれません。これは明治三十年代の「小林区署長」、今で言う森林管理署長さんの制服(正装)です。サーベルも持っていたりと、戦前の制服は大変厳めしいものでした。

職員の制服は時代や役職、所属する組織によっても違いました。現在の「林野庁」に繋がる「林野局」が出来る昭和二十二年以前、国有



昭和20年代初頭の帝室林野局
(宮内省) 職員



昭和20年代初頭の営林署
(農林省山林局) 職員



昭和25年に制定された
第一種制服

林は大きく分けて農林省山林局、宮内省帝室林野局、内務省北海道庁という三つの別々の組織が所管していました。

昭和二十五年には統一した組織の現代的な制服が出来ましたが、それでもまだ警察官のような印象を受けますね。

戦前の時代も含め、林業の現場ではこのような制服を毎日着用していた訳ではなく、作業に適した服装もしていたようです。

現在の中部森林管理局で使われている業務服は昭和四十五年に制定されたものがベースになっていると聞いております。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。

これは、カラー写真のない時代へ時を超えて!むかしの写真を紹介するサイトです。

当サイトへは、QRコードを読み込んでください。

